

Wharfedale Pro

DP-4100D



▶ 製品の特徴

この度は Wharfedale Pro 製デジタルアンプ DP-4100D をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本製品の性能を十分に発揮させ、未永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み頂き、大切に保管して下さい。

Wharfedale Pro 「DP-4100D」は、プロフェッショナルなライブサウンドや固定設備に適した新しい DSP 搭載のデジタルアンプです。

4Ωの場合、チャンネルあたり 1700w を提供し、4つのチャンネルで個別に多様なシステムを構築できます。また、最大入力レベルが +21dBu の XLR 入力を備えており、一般的なプロオーディオシステムとの統合が可能です。

高度なスイッチモード電源と超効率的なクラス D トポロジを備え、低歪みで高出力を実現します。内部回路には、熱、過電流、DC、ショート保護、電源のオン/オフミュートを装備。また、強力な内部 DSP には、フロントパネルまたはフリーの制御用 PC ソフトウェアからアクセスできます。この高品質の DSP は、EQ、フィルター、位相、ディレイ、リミッター等の詳細な編集が可能です。

PC との接続及び AES3 デジタル入力は、前面の RS485 コネクタを介して可能となっています。

安全上のご注意

ご使用の前に、かならずよくお読みください。

ここに記載の注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただくためのもので、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然にふせぐためのものです。かならず遵守してください。

この取扱説明書は、使用者がいつでも見ることが出来る場所に保管してください。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



電源は必ず交流 100V を使用する。
発電機やステップアップトランスなどは不安定なものがあります。火災や感電のおそれがありますので、使用には充分にご注意ください。



異なる電圧機器を混在しない。
電圧・仕様の異なる機器を混在しないでください。



付属の電源ケーブルは、本機専用です。
付属以外の電源ケーブルは、故障・火災・発熱などの原因となります。
また日本国外で使用する場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



電源ケーブルをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり傷つけたりしない。ケーブルの上に重いものを載せない。
電源ケーブルが破損し、感電や火災の原因になります。

設置



この機器を開けたり、内部部品を分解・改造したりしない。
感電や火災、けが、やけど、または故障の原因となります。
異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器の冷却口をふさがないように設置する
ファンなどによる冷却をさまたげないように注意してください。また、高温を発生する場合がありますので、可燃物等からはなして設置してください。



注意

「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、かならずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを持たずに、かならず電源プラグを持って引き抜く。
電源ケーブルが破損して、感電や火災の原因になります。

設置



この機器を移動するときは、かならず電源ケーブルなどをすべて外した上で行う。
ケーブルを傷めたり、機器の破損や傷害の原因となります。

水に注意



この機器の上に、液体のはいたものを置かない。また、浴室や雨天・霧の屋外などの湿気の多い場所で使用しない。
本機は屋内専用です。感電や火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

異常に気付いたら



電源ケーブルやプラグが傷んだ場合、または使用中に音が出なくなったり異臭や煙が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器を破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。長時間使用しない場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜いてください。



直射日光のあたる場所、日中の車内やストーブの近くなど、極端に湿度が高くなる場所、逆に湿度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所では使用しない。
機器が変形したり、内部の部品が故障する原因となります。



不安定な場所に置かない。
この機器が点灯して故障したり、傷害につながる場合があります。

使用時の注意



テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。
この機器やテレビ、ラジオ等にノイズが発生する場合があります。



この機器のパネルのすきまに手や指を入れない。
けがや傷害につながるおそれがあります。



この機器のパネルのすきまから金属や紙片などの異物を入れない。
感電やショート、火災や故障の原因となることがあります。
異物が入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器の上に乗ったり重いものを載せたりしない。ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
機器の破損や傷害の原因となります。

※不適切な使用や改造による故障の場合の保証はいたしかねます。

※使用後はかならず電源スイッチを切りましょう。

※電源オン時には、本体パネルや筐体の温度がやや上昇しますが、異常ではありません。気温が高い場合には温度も高くなる場合がありますので、ご注意ください。

※この取扱説明書の写真・イラストは、実際の製品と一部ことなる場合があります。

※この取扱説明書記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。

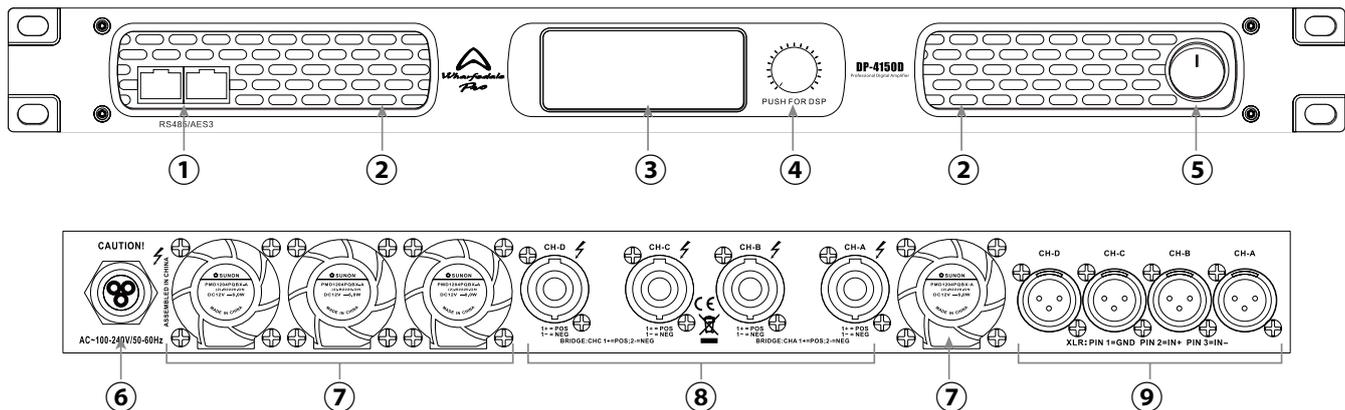
※仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。



クイックスタートガイド

1. パワーアンプとの接続時に電源スイッチが OFF の位置になっていることを確認します
2. 信号経路内のすべてのデバイスを接続し、各接続が安全であることを確認します。
3. すべてのレベルとゲインコントロールを最小に設定します
4. 他のすべてのデバイスの電源を入れたら、アンプの電源スイッチを「ON」の位置にして、フロントパネルのディスプレイが点灯していることを確認します。
5. アンプの音量を 7 割ぐらいに設定します。（この設定は、セットアップ後、必要に応じて調整します）。ソース信号が出力されたら、各機器のゲインを設定します。アンプの入力トリムが校正されたら、ミキシングコンソールのマスターフェーダーで全体の音量を変更することをお勧めします。
6. 電源を切るときは、最初にパワーアンプをオフにしてください。

▶ フロントパネル / リアパネル 各部の名称

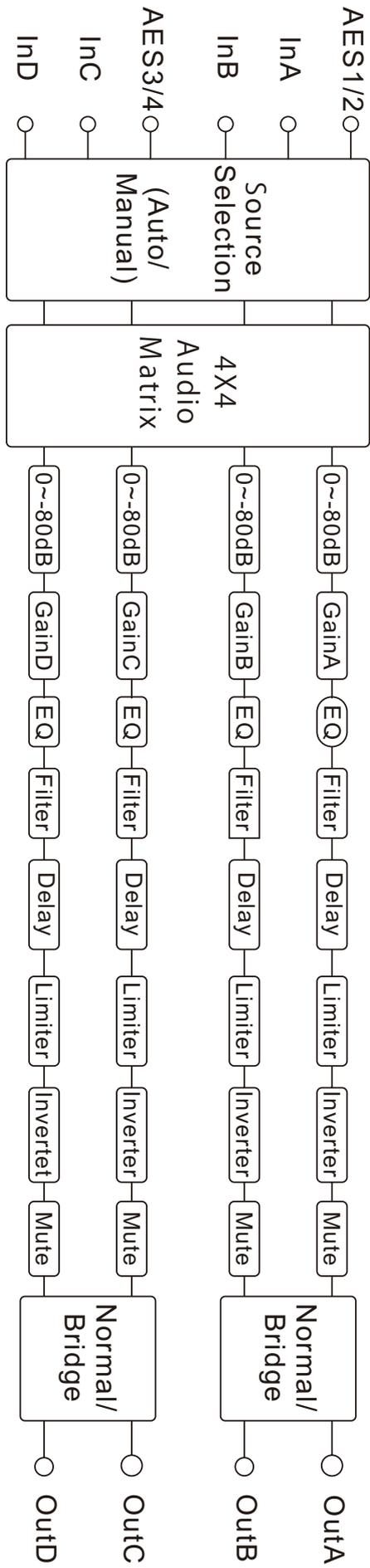


機能	説明	
① RJ45 端子	RS485 コントロール信号入力、及び AES3 デジタルオーディオ入力 2つのRJ45端子は並列に接続されており、ピン配列は下図1のように定義されています。	
② 冷却孔	エアフィルターを介して前面から後面へ強制的換気します。	
③ LCD スクリーン	バックライト付き一体型LCDコントロールスクリーン。	
④ コントロールノブ	ノブを回してDSPメニューを移動し、押し込んで選択します。	
⑤ 主電源スイッチ	電源のオン/オフに使用します。押すと電源が入ります。	
⑥ 電源ケーブル	電源ケーブル/3ピン電源プラグ	
⑦ 冷却ファン	前面から後面へ強制換気で冷却します。	
⑧ 出力コネクタ	パッシブスピーカーに接続するための出力コネクタ ステレオモード/シングルチャンネルモードの場合 スピーカー+ソケット接続方法	ブリッジモードの場合 スピーカー+ソケット接続方法
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>CH-A/B/C/D</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>CH-A/C</p> </div> </div>	
⑨ 入力コネクタ	XLR バランス信号入力端子	

図 1 RJ45 端子ピン配列

RJ45 PIN#	PIN1	PIN2	PIN3	PIN4	PIN5	PIN6	PIN7	PIN8
Wire Color	White/Green	Green	White/Orange	Blue	White/Blue	Orange	White/Brown	Brown
Signal	RS485_A	RS485_B	AES1/2+	AES3/4+	AES3/4-	AES1/2-	Reserved	Reserved

DSP シグナルフロー





メニュー構造

Main Menu	階層
1. Volume	Volume Channel Selections
	CH_A
	CH_B
	CH_C
	CH_D
	EXIT
2. Mute	Channel Mute Control
	CH_A
	CH_B
	CH_C
	CH_D
	EXIT
3. Matrix	4x4Audio Routing Selections:
	Out_A
	Out_B
	Out_C
	Out_D
	EXIT
4. Source	Audio Source Selections
	CH_A
	CH_B
	CH_C
	CH_D
	EXIT
5. Gain	Gain Control
	CH_A
	CH_B
	CH_C
	CH_D
	EXIT
6. Delay	Channel Delay
	CH_A
	CH_B
	CH_C
	CH_D
	EXIT
7. Filter	General Filter Setting
	Channel:
	HP_type:
	HP_Freq:
	LP_Type:
	LP_Freq:
	EXIT

Main Menu	階層	
8. EQ	EqParameter Adjustment	
	CH(Channel Selection)	
	Band(Band Selection)	
	Type(Filter Type Selection)	
	Freq(Frequency Adjustment)	
	Boost	
	Q	
	EXIT	
9. Inverter	Phase Control	
	CH_A	
	CH_B	
	CH_C	
	CH_D	
	EXIT	
10. Limiter	Limiter Setting	
	Channel	
	Attack(dB/ s)	
	Release(dB/ s)	
	Threshold(dB)	
	EXIT	
11. Status	State Check	
	TEMP	Temperature Value
	Pro.	Protection Mode
	Load	Output Voltage/ Current
	EXIT	
12. Standby	Standby Setting	
	Normal	
	Standby	
	EXIT	
13. Address	485Parameter Setting	
	Address	
	Baudrate	
	EXIT	
14. Save/Recall	Save and Retrieve Setting	
	Save	
	Recall	
	EXIT	
15. Reset	Factory Reset	
16. Contrast	Display Contrast Adjustment	
	Contrast	
	B/ L Mode	
	EXIT	
17. Cursor	Cursor Orientation Setting	
	Clockwise up	
	Clockwise down	
	EXIT	
Exit	Return to Home Screen	



スペック

DP 4100D		
電源	100V ~ 240VAC, 50~60Hz	
消費電力 (1/8 最大 4 Ω)	11.5A	
定格出力 (ステレオ)	8 Ωステレオ	1000w x4
	4 Ωステレオ	1700w x4
	2 Ωステレオ	2890W x4
定格出力 (ブリッジ)	16 Ωブリッジ	2000w x2
	8 Ωステレオ	3400w x2
	4 Ωブリッジ	5780w x2
ゲイン範囲	21dB~39dB(定格出力 1kHz)	
最大入力レベル	8.7Vrms (21dBu) (default gain)	
入力抵抗	20k Ω (バランス), 10k Ω (アンバランス)	
周波数特性	> ± 0.2dB (定格出力 10%、8 Ω、20Hz-20kHz)	
クロストーク	≥ 90dB (20Hz-1kHz)	
ダンピングファクター	≥ 1000 (8 Ω , 20Hz-200Hz)	
S / N 比	≥ 105dB (default gain)	
入力端子	XLR メス x4 , AES3 x2 (RJ45 x1)	
出力端子	NL4 x4	
プロテクト	オーバーヒート、回路ショート DC、出力ショート	
寸法 (W x H x D) / 重量	483 x 44 x 370mm / 9kg	

この取扱説明書は、IDE コーポレーション有限会社が制作しています。
発売元：IDE コーポレーション有限会社
〒530-0015 大阪市北区中崎西 1-1-24